

年 度	番 号	部 門
1 5	3 9	特用林産



福井県総合グリーンセンター
林 業 試 験 部
TEL 0776-67-0002

“福井の森の研究から”

ウスヒラタケ育成品種“ふくひら2号”の特性

1. 新品種“ふくひら2号”の育成の目的と経過

ウスヒラタケはヒラタケ科ヒラタケ属のきのこで、春から秋に広葉樹の枯れ木や倒木に発生する。香りが良く、味には癖がなく、肉質は比較的やわらかい美味なきのこであり、形態の類似するヒラタケに比し、高温できのこが発生することに着目して、ウスヒラタケを対象に優良品種の育成に取り組んだ。

県内で採取した野生のウスヒラタケから組織の一部を分離して得られた複数の菌株を対象に、平成6年から栽培試験を繰返し、平成11年に、きのこの発生量や発生温度、色、形などの遺伝的特性に優れた1菌株を選び出した。



ふくひら2号の子実体発生

その後、品種登録のための特性調査を行なった後、この菌株を“ふくひら2号”と命名し、平成12年6月21日、品種登録の出願をし、平成14年8月6日、現地調査が行なわれ、平成15年2月20日、品種登録された。

2. 特性の概要*

(1) 生長菌糸の温度適応性

異なる温度におけるPDA培地での菌糸の生長速度は15℃で1.5mm/日、20℃で2.6mm/日、25℃で4.1mm/日、30℃で3.8mm/日、35℃で3.0mm/日であり、25℃から30℃にかけて菌糸の生長が速く、最適生長温度は26℃付近である。

(2) 子実体の形態的特性

傘は楕円形をしており、中央部がやや凹み、周縁部は下を向く。成熟するとロート形となる。傘の長径は4.4cmで、短径に対する長径の比率は1.2である。傘の表面の周縁部は淡茶色であり、中心から放射状に浅灰茶色の筋状の模様がある。ひだは柄に重く垂生し、幅は3.4mmで、黄白色である。柄は傘に偏心して付き、断面の形は細長く、長さ5.1cm、太さ7.6mmで黄白色を呈する。

(3) 子実体の発生

鋸屑びん栽培における子実体の最適発生温度は20℃付近であり、最適生育温度も同様に20℃付近である。種菌を接種後、子実体が発生するまでの期間は28日である。菌かきを行った後、子実体を収穫するまでに6日を要する。1びん(850cc) 当たりの子実体の収量は78g、有効茎本数は44本である。

3. 栽培の特徴

ふくひら2号の最適な子実体の発生温度および生育温度は20℃付近であり、ともにヒラタケより5度～7度高く、夏場の施設栽培で冷房費が削減でき、省エネでの栽培が可能であることから、ヒラタケやエノキタケ栽培の夏場の複合作目として期待される。また栽培期間も、30日とヒラタケより10日程度短く、短期間の栽培が可能である。

表1. ふくひら2号と対照品種福井HY号の特性調査データ*

品種名	菌糸の性状			温度適応性	
	ふくひら2号との対峙培養	培養菌糸の密度	気中菌糸の発達速度	最適生長温度	生長速度
ふくひら2号	—	中	中	26℃	5.2 mm / 日
福井HY号	帯線形成有	〃	〃	28	6.4

品種名	栽培的特性				
	子実体発生までの期間	芽出し・生育期間	子実体の発生最適温度	子実体の生育最適温度	子実体の発生型
ふくひら2号	28 日	6 日	20℃付近	20℃付近	群状
福井HY号	26	6	17	17	〃

品種名	栽培的特性		子実体の形態的特性		
	収量 (850cc びん1本当たり)	有効基本数	傘		
			断面の形態	長径 / 短径	表面周縁部の色
ふくひら2号	78 g	44 本	凹型	1.2	淡茶
福井HY号	59	18	〃	1.3	灰茶

品種名	子実体の形態的特性			
	傘		ひだ	
	肉厚さ	肉質	柄へつき方	色
ふくひら2号	1.5mm	普通	重	黄白
福井HY号	5.4	〃	〃	〃

品種名	子実体の形態的特性				
	柄				
	傘へのつき方	形	色	太さ	傘長径/柄長さ
ふくひら2号	偏心生	細長	黄白	7.6 mm	0.9
福井HY号	側生	太短	〃	12.9	1.0

*調査方法は『平成8・9年度種苗特性分類調査報告書』（平成10年3月、全国食用きのこ種苗協会）の審査基準に従った。

<文責 赤松やすみ>